

内郷村幸

本紙定価一冊五
四十八文
郵費別
内郷村幸
大内民恵
平活版所

先づ部落常會を結成して 國策の遂行を期せ

大内民恵

予は本月二日より二週間、縣廳内の學務部の一室を根據として、縣海外協會の強化擴大方策に没頭し、此間二回國民精神總動員福島本部會議に列席し、若皇歸宅したの十四日の夕刻であつた。而して留守宅には廿日より數日にわたり、縣下五班に分れて、精勵運動を開催するから、便宜之に出席して聲援せよといふ、會長よりの指令が待拂へて居つたのであつた。

從來本紙の編輯には、三日乃至四日を充當して居つたのであるが、此際どうしても其餘裕を見出し得ないので、斷然今月號に限り、二面に半減し、其全紙を精勵運動に關する私見のみを輯録して、發行することに決定し、同時に此度縣下五班にわたつて出席せらるゝ、市町村代表者千有余名の各位に之を洩れなく贈呈して、其發同御協力を仰ぐこととしたのである。建國以來未曾有の非常時！十余年間御愛顧の榮を垂れられた、内外四千の讀者諸君に於かれても、微意の存するところを諒承せられて、極力該目的達成の爲に御協賛下さらんことを、念願して已まな

予は三日の會議に於て、當局の意向計畫方針等に就いて、具に檢討し、考究して、之が完遂策を建てたのであつた。而して十四日開會の通知を手にした、十二日の夕刻より執筆、翌十三日午前一時に脱稿、之を印刷に附して、十四日の會議に提出したが、本紙第二面に掲載した、予の私案であつて、之を當日出席せられた全部に贈呈して、其大要を説明したのであつた。

回顧すれば九年前、昭和七年一月一日、本紙第八號の一面に、「政黨の爪牙惡二千石」と題する一文を掲載して、當時内閣更迭の結果四十餘名の縣知事を入れ換へた、政黨本位の暴狀を糾弾すると共に全國の縣知事に對して、帝國の臣民ならば、斷じて政黨の走狗爪牙たる勿れと、大いに戒飭するところであつたのである。(當時の其知事申より知己を得て未だに親交する仁が數名ある)爾來一勿論其以前からも政黨の腐敗墮落を戒告し種々の方法を講じて、其發心覺醒を總之れ努

めたのであつたが、一般國民も亦漸次之を認識するに至り、殊に未曾有の時局に當面するに及んではいよいよ拍車をかけて、各政黨は一路衰運を辿り、舉國一致新黨結成の機運をさへ招來するに至つたのが現状であつて、予は聊か其先見を誇りとする次第である。更に一面には、官僚獨善の弊を叫ぶものもなきにしもあらずであるが、刻下の國情に於て、將た此過渡期に於て、萬已むを得ざる現象の處理策をめぐらして、官民協力、聖業達成に獻替すべきであると思はれる。



(事知縣本橋)

予は以上の如き立場から、時時、本縣に橋本良二千石を迎へた事無上の欣快さするものである。予は橋本知事に、始めて會見したのは、布哇視察團歡迎に關する打合せをした時であつた。其後其歡迎會の席上、並に三日の會議に於て、其風貌、態度、意見、等に接するに及んで、「衷心此人ならば一の感深うし、十四日の會議に於て、徹夜作製したる、私案を提出したのであつた。流石は賢明にして篤敏なる會長！微衷感服、一回融合、率先予の提案を嘉納せられ、晝餐休憩時間に於て燈下の一例として之を舉げた(縣下に其通例の多いことを勿論なれど)市外渡利村の第二區部落常會に出席するは勿論、其部下を督勵して、其居住する町内會

乃至部落常會に出席して、方策達成を期し、以て縣下に其範を垂れられることを口約せられた。由來此種會議に於ける、上司の訓令示達等は、其出席者が夫々文書なり口達なりによつて、之を配下に頒つことは實行せられるが、さて其徹底實現は覺束ないのが、其實際である。いふ迄もなく、今や我國は、そうした悠長緩慢を許さざる現狀に置かれてあるのである。御稜威下に、一億一心、精勵奮闘、國策遂行に邁進せざるべからざる非常時局である。其一億一心を、全國民が各自肝銘して、精進しなければならぬのである。而して其單位は部落常會乃至町内會に結成せられ、其協議事項を實行に移すべきが、最も適切有效なる方法であると思はれるのであつた。

其會に於て、お互に一億一心、一切を打ちあけて、食糧問題も、貯蓄問題も、保有金庫問題も、將た與亞奉公日の行事問題等も、悉く検討し研究して實現することとなつたならば、其部落と其町内とを總合する、縣下も國家も其目的を完遂するさいふこさ、なるのである。それには先づ其中心人物たるべき人々の、力と熱意が其成否を左右すること、なるのである。幸ひなるかな、吾人の信賴措く能はざる、我本部長たる橋本知事に於て、叙上の如き熱心力を以て、第一線に立つて我等百六十萬縣民を指揮せらるゝ事となつたのである。何たる力強きことではあるまいか

根元をなす、其一心の確立こそは何よりの先決問題である。曾て時の政府が、宗教の大切なることを痛感して、全國の宗教家を集めて其對策を講じた事があつたが、龍頭蛇尾、何等の結果も得ず、從て國民の教育上に何等の痕跡もみよめず今日に及んだことは、眞に笑止千萬の次第である。予はこゝに筆をこめて、知つた風にして、甚だ不遜ながら、現代一部宗教家の態度を揶揄苦笑したことであつた。但しかくいふ予には聊か此方面に就いて、其或確信を有することをこゝに言明して置く。

閉話休題、又我會長にも斯道に修養を積まれたと仄聞する。此時此際、會長を中心として、縣下あらゆる方面の代表者を網羅する、我本部長員間に於て、研究考究、先づ徹底した國民否縣民指導書を編纂して、百六十萬一心を期したいものである。念願に堪へないものである。此度當局より提示せられた、大方策に對する、對策並に方針は眞に到れり盡せりである。方針は百六十萬縣民が一心となつて一路之を實行實現を期するにあるのである。中央本部の理事長は、本縣出身の堀切善次郎氏であり、又我參與中には其令兄善兵衛氏も其名を列して居られる。而して我部長は新進氣鋭、智有兼備の橋本知事である。我百六十萬の將兵は、勇躍奮進縣の名譽にかけても、全國のトップを切ることを、ゆめ／＼忘れてはならぬ。暴言多量乞容赦！本紙は特に一千五百枚を増刷した橋本知事の寫眞は印刷着手迄に東京より到達せず或は二十日以後發送の分ならでは間に合はぬと思はれる。併せておゆることを乞ふ。萬有は天法に歸す、民恵

精勤本部會議ニ於ケル提案

昭和十五年六月十四日

(當日出席者全部に配布)

國民精神總動員福島縣本部

參與 大内民惠

會長橋本清吉殿 參列各位殿

去ル六月八日附ヲ以テ、本日本部ノ理事參與幹事會議ノ儀並ニ其協議案ヲ提示セラレ、ソレニ關スル意見ヲ開陳スベキ旨ノ下命ニ對シ、私見ノ一端ヲ左ニ陳述ス。

記

- 一、提示セラレタル、國民精神總動員本部新運動ノ方策
二、貯蓄増加目標一億三千萬圓ニ對スル獎勵方策
三、金保有者ニ對スル賣却獎勵方策
四、興亞奉公日ノ意義ニ即セル實行方法

去ル六月八日附ヲ以テ、本日本部ノ理事參與幹事會議ノ儀並ニ其協議案ヲ提示セラレ、ソレニ關スル意見ヲ開陳スベキ旨ノ下命ニ對シ、私見ノ一端ヲ左ニ陳述ス。

日創始以來、今月一日ニ至ルマテ其部落ナル七社ノ官前ニ於テ參拜行事ヲ舉行シ來レリガ如キハ、眞ニ讚稱ニ値スルモノニシテ、以上ノ實況ヲ詳細ニ記録シタル、部落常會日誌同興亞奉公日誌及神社參拜票等ヲ親シク閱覽スルニ及ンテ、コレアル哉ノ感ヲ深クシタル次第ナリ。

茲ニ於テ予ハ提案ス。本日科セラレタル四大方策ノ完遂ヲ期セシムルニ欲セバ、須ラク上縣知事ヲ始メ下百六十萬縣民ガ、一致協力部落常會ヲ組織シ、努メテ之ニ參加シテ、其部落ノ食糧、其部落ノ經濟、其部落ノ保衛等ヲ徹底的ニ調査檢討、以テ國策ニ應ズル方策ヲ確立シテ之ガ實現ヲ期シ、興亞奉公日ニ於テハ、一同神前ニ參集シテ其經過ヲ報告シ、其繼續達成ヲ宣誓セヨト。乞フ腕ヨリ始メヨ、否乞フ福島市ヨリ之ヲ始メヨ。全縣民ハ感激シテ奮起シテ呼應スルヤ必セリ。今日茲ニ參集シタル我等一同モ、亦其居住スル部落ニ於テ、其使命ヲ果スベキ義務ヲ有スルモノト信ス。人或ハ言ハシ、我ニ職務アリ、我ニ職業アリ、カ、ル餘暇アラナヤト、勤王ノ國學大家本

居宣長ハ折々に遊ぶいさまのあゝものな... 以上ノ方策ヲ達成セント欲セバ、先ツ百六十萬縣民ニ堅キ人生觀—宗教觀—ノ信念ヲ確立セシメ、八紘一字ノ國民精神ヲ獲得セシムル要アルト信ス。

國民精神總動員福島縣本部役員名簿

(順序不同)

Table listing various roles and names of members of the National Spirit Mobilization Committee, including positions like 知事, 理事, 常任事務部長, etc., and names like 橋本清吉, 上藤三郎, etc.



(氏治郎三野菅)

Table listing various roles and names of members of the National Spirit Mobilization Committee, including positions like 東日福島支局長, 報知福島支局長, etc., and names like 藤田次郎, 加藤三郎, etc.